

# 普通科

学力向上フロンティア校  
「みらいヘトライ! 福高スクラム」

学力向上フロンティア校に3年連続で指定  
普通科の新しい取組に御注目ください!

## 新聞に親しみ、プロの文章から学ぶ。～新聞活用セミナー～

インターネットや携帯電話などから、いつでもどこでも簡単に情報を探し出せるこの情報社会において、なぜ新聞活用セミナーなのか疑問に思う中学生もいるかも知れません。



気になる記事を探して読んでみよう。

本校では朝日新聞社から池田将史先生、藤井諭先生を講師にお招きし、第1回は新聞に親しむことを目的に、紙面の構成の仕方や読み方、スクラップの仕方、見出しとリード文・本文の関係等について、実際に新聞を手にしながらか学習しました。事前の宿題として、天声人語の音読や書き写しにも取り組みました。

今後は、より具体的に文章の書き方について深めていくと同時に、「語彙・読解力検定」にも1年生全員で挑戦する予定です。また、次年度は進路を見据え、小論文の書き方についても学習します。

新聞は、的確な言葉で簡潔に、しかも客観的に状況を文章ですべての人に伝えることが求められます。書き手の伝えたいことを確実に相手に伝える文章を毎日執筆・編集されているプロの文章です。日々良質な文章に親しむことにより、正しい言葉の使い方や語彙力が磨かれます。また、日常生活の身近な社会問題をテーマとして解決策を考えたり、幅広く人の意見を参考にして自らの考えをまとめたりすることを通して、読解力、表現力、思考判断力を養うことにつながると考えています。



新聞活用セミナー受講 全体風景

- 表現力は、希望進路に関係なく、上級学校や社会で求められる重要な資質です。
- 洗練された文章に親しみ、「分かりやすく」「正しい」日本語に触れることにより、自分の考えや研究成果を正確に伝える力を身につけることを目標に、2年計画で取り組みます。

## 取組紹介～「みらい」の窓～ 新聞活用セミナー

1年4組 石嶋 千佳 南陵中学校出身

新聞というものはいつも身近にあるものだけど、しっかり目を通したことはありませんでした。でも「2面より3面の方が大切な情報が書いてあること」や「土曜日の新聞が一番良い」など、色々な豆知識を教えてもらって、新聞はすごく考えられて作られているんだと思い、もっと読んでみようと思うようになりました。

また、天声人語はいつも624字でぴったりおさまっているということにも驚きでした。天声人語は大切なことや、最近のことなどが簡潔にまとめられているので読みやすいし、何より大学の試験などで使われているのがすごいと思いました。

気になる記事の探し方や、新聞の読み方などを教えていただいたので、是非実践してみようと思います。

貴重なお話をありがとうございました。



1年4組 東 駿汰 桃映中学校出身

この度は新聞の活用の仕方をお教えいただきありがとうございます。僕は普段全く新聞を読みません。でも今回のセミナーで新聞を読んでみようと思いました。

特に興味を持ったのは天声人語です。前に親から「天声人語を読んでみたら?」と言われていたけれど、どうせ普通の記事が書かれているんだろうと思っていました。でも天声人語は多くの記者の中で最も優秀な2人が書いていて、とてもすごい記事だと聞いて、今まで読まなかったことを後悔しました。これからは毎日読みたいと思います。

他にも、新聞のことを聞いて勉強になったことがありました。最も伝えたい記事は右上にあって、左下に行くほど重要度が下がることです。これを聞いたので右上に注目して新聞を読みたいと思います。

短い時間だったけれど新聞への意識がとても変わりました。またのセミナーを楽しみにしています。

